

電動車椅子サッカーW杯 9日開幕

ネット中継で 強力アシスト

世界七カ国・地域の電動車椅子（じす）サッカー代表チームが競争する第一回F.I.P.F.Aワールドカップ2007（電動車椅子サッカーW杯）が九日から十二日まで、東京で開かれる。重度障害のある選手たちが世界につながる夢を実現（じゆげん）して開催（かいさい）される。金沢市のメンバーが中心となって運営するNPO法人STANDがインターネット中継の大役（だいやく）を任せられた。メンバーは「選手たかのプレーに応え、電動車椅子サッカーの妙味（みょうみ）を伝（つた）べたい」と張り切（はりき）っている。（報道部・小島哲男）

STANDは1005年11月

に設立（せつりつ）。まだ任意（いにしき）のボランティア団体だった〇二年から毎年秋、名古屋市や大阪市で開かれてきた日本電動車椅子サッカー選手権（じゆん）でネット中継を担当（とうとう）してきた。

きっかけは、金沢市の選手たちの仲間（なかま）から寄せられた「体が自由（じゆう）で会場（かいじょう）には行けないが、応援（おひょう）したい」という声（こゑ）だった。テレビ

（報道部・小島哲男）

電話機能付き携帯電話（モバイル）とインターネットを組み合わせた機動的なシステムを考案（こうあん）。モバイルと中継（ちゅうけい）をもじって、メンバーは「モバチュー」と名付けた。

今年四月、愛知県大府市で開かれたW杯の日本代表選考会では、選手の仲間（なかま）やF.I.P.F.A関係者（かんけいしゃ）からのメッセージも配信（はいしん）し、期間中のアクセスは三千五百を超えた。

W杯に出場（しゆじょう）するのは日本、米国、フランス、イングランド、ベルギー、ポルトガル、デンマークの七チーム。九日の開会式から三日（さんじつ）の決勝戦（けっしゅせん）まで全（ぜん）て十三試合（じごう）。STANDのメンバーと金沢重穂（しげほ）大（だい）の学生ボランティアら総勢（そうせい）約三十人が繰り出し、監督（かんそく）、選手（せんしゅ）のインタビューやベンチ裏（うしろ）リポートも絡（から）めて生（なま）中継（ちゅうけい）する。

金沢のNPO法人（じんぞくのエヌピーオーほうじん）



電動車椅子サッカー

重度の
障害者たちのために考
案されたスポーツ。1

チーム4人制（じせい）で、バスケットボールコートを使って行
う。電動車椅子の先端（さきばたん）に取り付けたフットガードや車椅子の側面
で、直達（じてき）約33秒（せい）のボールを操（あつ）る。

W杯に出場（しゆじょう）する日本チームのアドバイザーには元サッカー日本代表（れいひょう）監督（かんそく）の岡田武史（おかだぶじ）氏（しそう）がなっている。



テレビ電話機能付き携帯電話を使い試合の模様を中継したW杯の日本代表選考会=4月、愛知県大府市（STAND提供）

場（ば）か（か）の（の）で観戦（かんせん）に行かない（か）が中継（ちゅうけい）見て日本チームを応援（おひょう）したい（む）話（は）。本番（ほんばん）に向けてメンバーは今、じゅし統一（とういつ）された国際（こくさい）ルールの勉強（めんきょう）をしたり、各国（こく）から選手（せんしゅ）たちへの動画（どうが）メッセージを募集（めいしゅう）したりと準備（じゅんび）に余念（よねん）がない。

STANDの伊藤（いとう）数子（すうこ）副理（ふり）事長（じじょう）（金沢市）は「選手（せんしゅ）の皆さん（さん）は、W杯（わいぱい）の開催（かいさい）によって競技（きぎ）がより広い世界（せかい）へと広が（ひろが）るとともに、競技（きぎ）普及（ひふき）活動（かつどう）を通して社会（かわい）に貢献（こうげん）できる（る）ことを願（ねが）っている。わたしたちはネット中継（ちゅうけい）で少し（すこ）でもそれを応援（おひょう）したい」と意欲（いよく）を示（あらわ）している。

（公式）中継ホーページの「<http://www.i-project.jp/stand/mobachoo/w-cup/>」。運営費（うんえいひ）を確保（ほくほ）するため企業（きぎょう）の支援（えんしん）も求め（もと）めている。問い合わせはSTAND事務局（じむきょく）=電話（076（076）00099=）。